



ひばりぐみだより

令和2年11月26日
幼保連携型認定こども園
津田このみ学園

足元を彩る落ち葉や吹く風の冷たさに、晩秋を感じる季節となりました。日中の暖かい時間は、戸外で元気いっぱい遊んだり、散歩に出かけ自然との触れ合いを楽しんでいます。

たのしかった遠足

「遠足の日、晴れるかな？」子ども達は毎日、心配そうに空を眺めていました。思いが届いたのか、当日は暑いぐらいの天気にも恵まれました。いつも行く津田公園もリュックサックを背負っていくと気分も変わるようで、新鮮な表情で元気に出発しました。「何オニする？」と公園に着くなりみんなで群れ遊びの相談が始まり、汗をいっぱいかきながら楽しみました。公園の散策では「ちっちゃいどんぐりがあった！」とAくんの声が聞こえると、みんなで探し始めて落ち葉や木の実で袋いっぱいになりました。たくさん遊んだ後は楽しみにしていたお弁当。ふたを開けると「うわー！」と喜びが溢れ出ていました。「おいしいなあ」「〇〇ちゃんのお弁当かわいい」とお弁当を見せ合い楽しい時間になりました。

帰りも「やっぱり遠足は楽しいなあ」「また行きたいな！」と話しながら、いつまでも話が尽きませんでした。



毛糸あそび「指編み」

年長のBさんが毛糸で指編みを長く編み進めていました。他の年長児も編み始め、夢中になっています。今ではいろんな色の毛糸を使い、ミサンガやマフラーを作って楽しんでいます。年長児の姿を見てあおぐみの子も達もゆっくりと編めるようになってきました。毎日、コツコツ取り組んで大きなマフラー作りにも挑戦しています。

身近な発見

「あれ顔に見える！」Cくんが指す方向をみんなで見てみると、建物の窓が顔のように見えていました。「ほんまや！」「他にもあるか探してみよう」と机の金具や落ち葉などいろんな顔をみんなで探し始めました。見つけた顔は写真に撮っていき確認し合っています。「これ、あかぐみさんわかるかな？」「クイズにしたらおもしろいかも」とクイズ大会に発展しています。

